

(別紙) 令和4年度 いじめ防止啓発強化月間の取組(小学校)

学校名	取組	内容
志津	全校集会「いじめなし学級宣言」	志津リーダー委員会が代表委員会でいじめのない学校にするためのスローガンづくりを各学級へ提案した。全校集会では、それぞれのクラスが発表を交流した。
志津南	自分たちの力で、より良い学校にするために	代表委員会や各委員会、AAG(高学年有志の集まり)のメンバーが、現在の学校の様子を振り返って、挨拶や廊下歩行等について自主的に呼びかけを行う等の活動ができた。2学期は、1学期の取り組みも継続しつつ、約束を守ることや、相手の事を考えた言動についての取り組みも進めていく予定である。
草津	道徳 いじめではない 解決方法を考えよう	いじめにつながるトラブルを未然に防ぐという狙いもあり、相手のことを考える声掛けをすることができた。
草津第二	人権委員会の取組	放送でいじめが起こりうる場面を紹介し、全校児童に考えるきっかけづくりを行った。また、朝の放送で人権を大切にしようといった内容の呼びかけを行った。
渋川	今月のいっぼ「みんなが味方の輪をつくりいじめゼロの楽しい渋川小学校をつくろう」	全クラスが考えた学級での具体的取り組みや行動目標を昼の放送で6日間にわたり放送で発信したことで交流がはかれた。
矢倉	なかよし週間	やさしさ委員会の企画。毎朝、各学年から朝の時間を使って発表。やさしさ委員会が各学級で作った「やさしさの木」に集まったメッセージの中から、紹介する。
老上	『いじめゼロ宣言』に関わる各クラスごとの学級目標の制定	学級活動を通して、いじめをなくすために自分たちの学校でできることを考えることによって、身近な問題として考えることができた。
老上西	老西っ子6月のめあて	毎月設定している老西っ子のめあてとして、6月は「話し名人になろう」を設定した。丁寧な言葉で話すことで、気持ちよく話ができる雰囲気づくりに努めた。
玉川	道徳科でのいじめ防止学習	道徳科でいじめに関係する資料を使って学習。いじめを自分ごととして捉え、改めていじめについて考えることができた。
南笠東	安心ルール	各学級で、自分にとって「安心」とはどういうことか(どうなれば安心か)、子どもたち一人ひとりの思いを知り、みんなの「安心」を紹介し、そのためにどう行動するか具体的に考え、学級の「安心ルール」を決める。
山田	人権作品制作	各学年に合わせて、人権やいじめ防止につながる指導をし、標語やポスターを作成した。1年:共同制作、2年:人権標語、3年:人権標語、4年:人権ポスター、5年:人権標語、6年:人権作文。
笠縫	みんな友だちの日	全校放送を活用し、いじめ防止をよびかけた。教師の話だけでなく4年生児童のメッセージも放送し、児童の主体性を大事にして取り組んだ。
笠縫東	友だちと私の日	9月のテーマ「自分らしさを見つけよう」では、“男だから”“女だから”と見た目や性別にとらわれるのではなく一人ひとりが自分のよさを見つけて、お互いに認め合うことの大切さを学んだ。(全校一斉学習:月1回の通年実施)
常盤	いじめノックアウト集会	企画委員会を中心となり、クイズや紙芝居を通して、いじめ防止の啓発を行った。児童らが主体的にいじめについて考えることができた。